

軽井沢移動教室の感想

～5年生 初めての軽井沢移動教室～

9月8日(月)から10日(水)まで、5・6年生は軽井沢移動教室に行きました。天候にも恵まれ、よい思い出を作ることができました。

鷹山ファミリー牧場に行って、全体の説明を係員の人に聞きました。その後に、バスの号車ごとに分かれて、昼食を食べました。昼食を食べ終わったら、次に、体験学習の乳しぼりをしました。係員の話聞いて、牛乳を出す牛は「ホルスタイン」という種類であることや、牛は自分が死んでしまうのが分かるなどいろいろなことが分かること、私たちは、いろいろな生き物の命を食べているから、残さず食べるべきであること、「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをちゃんとして、命に感謝することが大切であることなどを学びました。(内木場 友香)

ぼくが宿舎に着いた時に思ったことは、すごく自然がたくさんあって、東京とはまったくちがうということです。宿舎の周りには木がたくさんあって、庭からは浅間山がきれいに見えました。東京では見ることのない景色なので、いい体験をしたと思います。(柴田 礼登)

乳搾りをする前に係の人からのお話がありました。その内容は、牛乳をくれる乳牛や肉をくれる肉牛などの経済動物の一生は短く、乳牛は老いてくると、牛乳の出る量が少なくなります。すると、乳牛たちは殺され、乳牛の肉はキャットフードなどに加工されます。だから残さず食べましようとおっしゃっていました。私が鷹山ファミリー牧場の体験を通して感じたことは、私たち人間がおいしいものを食べ、元気に過ごせるのは、他の動物たちの命をもらっているからだとわかりました。また、動物たちの命を加工し、おいしい食べ物に仕上げしてくれる人たちの苦勞もあったからだとわかりました。(小林 いぶき)

群馬自然史博物館は、軽井沢の事前学習で調べていたので特に楽しみにしていました。群馬自然史博物館に着いてから恐竜の説明を聞いた時、化石だけでそんなにいろいろな事がわかるんだと思いました。その後の自由時間も使って恐竜だけでなく、虫や魚、動物にも詳しくなりました。軽井沢の事前学習で調べていて、群馬自然史博物館の中で楽しみにしていたダーウィンの部屋にも行きました。たくさんの動物の標本がありました。私が思っていたよりもっと楽しかったです。

(深尾 佳奈)



バター作り体験



トラクター体験

池の平湿原ハイキング



あいさつ運動を始めました

夏休み明け、5・6年生から希望者を募り、朝のあいさつ運動を行っています。

子どもが自主的にあいさつ運動を行い、子ども同士だけでなく地域の皆様にもあいさつをしています。そして、今では学校や地域へとあいさつ運動が広がりを見せています。

谷戸小学校で大切にしている「あいさつ」がさらに充実することを期待しています。

地域の皆様にあいさつ運動をあたたく見守っていただければと思います。よろしくお願ひします。

